みんなの文芸

俳句・短歌を募集
3日必着
作品には、ふりがなをつけ、住所・氏名・電話番号を明記してみらい創造課までお寄せください。
1人1句、1首に限ります。

俳句 榎本順江 選

※根岸茉莉さんの都合により

投稿数 16 句

白靴の嬰児めざすママの胸　皆野　引間　千鶴

(評)嬰児が蝶の様にひらひらと歩き始めました。白い靴が、転びそうになるのを堪え、向こうで待つママの胸迄歩けました。母子の歓声が聞こえて来ます。思わず手を叩きたくなる光景です。二句目、久し振りの晴間、朝から草刈機の音があちこちから聞えて来ます。働きぶりを音で競っている草刈機同士です。貴重な晴間の作業を遠くから聞いている作者。三句目、梅雨時の上棟、気掛かりは空模様ですが、梅雨空もお祝いの味方をしてくれました。空に響く槌音、絶好の上棟日和です。何日か晴れが続きますように。

梅雨晴や音を競える草刈機　三沢　眞下　杏子

炎天に師の聖火沿道に子等　皆野中　小菅恭青史

上棟の槌音響く梅雨晴間　下田野　新井　節子

店頭に並ぶ朝採り夏野菜　三沢　新井　叶子

夏燕翼艶やか日差し斬る　皆野　花垣好比古

山際を天に沸き立つ雲の峰　皆野　萩原　初惠

衝撃波放ち荒ぶれはたた神　皆野中　太幡琉美花

梅雨晴間ワクチン接種終え安堵　皆野　根岸　詩子

昆布刈釧路の友は沖に出て　皆野　戸塚喜久雄

新じゃがの練味噌香る小昼飯　三沢　新井　民子

短　歌（投稿順）

待ちに待つワクチン接種の日の決まる不安募りて待つ間の長し　皆野　根岸　詩子

蓮の葉の日傘の陰で物憂げに雨はまだか？と鳴くアマガエル　皆野　大澤　貴夫

山開き海開き又祇園祭コロナ禍の今中止か延期　皆野　戸塚喜久雄

ひこばえの枝に花あり健気さを哀れとも見ゆ主なき庭　皆野　萩原　初惠

コロナ禍に五輪開幕揺らぐ中きょうは沖縄慰霊の日なり　三沢　眞下　杏子

あまりにも小さき蜂は花粉集め黒鬼灯の花から花へ　三沢　新井　民子

青葉山風に枝葉をなびかせて迫りくるかに錯覚のあり　三沢　新井　叶子

耕して野菜つくりて損をした気分になりぬ食害惨め　上日野沢　四方田利男

恐怖なるコロナ禍終息祈りつつワクチン接種終了なせり　下日野沢　浅見　豊子

県大会出場決めし子の顔に日焼けずに残るマスクのかたち　皆野　引間　万亀

過ぎし日の旅で購入スカシユリ今も元気に華やかに咲く　皆野　村田ハツ代

散髪も予約の要りてなほ一週伸びゆくままの夏草と共　皆野　打木　昭廣

田の隅の余り苗束生き生きと青田に入りし日を待ちており　国神　藤原マキ子

ワクチンの接種の予約やっと取れ胸の支えが少し和らぐ　下田野　新井　節子

中止でもいつか笑える日が来るサ行けよ青春悲しみバネに　皆野　石原　達也

進路とか未来の自分左右する十五の我に酷なる試練　皆野中　太幡琉美花

1歳になる赤ちゃんを募集しています

ご応募いただいた赤ちゃんは、全員掲載します。誕生月の前月10日までに、みらい創造課窓口（写真をご持参ください）または、町ホームページからお申し込みください。

9月号の締め切りは、8月10日（火）です。

問合せ みらい創造課 政策推進担当 ☎26-7334

親鼻駅 ポピー写真展

カメラフラッシュ

ポピーと秩父鉄道を同時に楽しむことができるスポットが、秩父鉄道関係各位のご理解・ご協力により、親鼻駅に誕生しました。駅の待合室には、有志のかたがたによる写真が展示されています。ぜひ、お立ち寄りください。

カメラフラッシュ 掲載写真募集！

皆さんの地域の中での活動や表彰などをお寄せください。
紙面の都合で掲載ができない場合もありますが、ご了承ください。
みらい創造課窓口（写真をご持参ください）または、メール（seisaku@town.minano.saitama.jp）で受け付けます。

問合せ みらい創造課　政策推進担当　☎26-7334